

分野：②

(はっぱ)

環境アドバイザー

櫻井 行雄

対象 熊谷市立西小学校 4年(38人)

所要時間  1時間

場所 4年生教室

実施時期 令和3年12月10日

概要

「はっぱ」について2部構成

- ① 身近なはっぱは地球温暖化対策のひとつの大きなファクターであること
みんなが大人になった頃の2050年に向かって今大きく変わっていく
- ② はっぱのクイズと防御システム、それに最近話題の虫たちとの関係

プログラムの
ねらい

地球温暖化というのは人間の活動と身近なものの営みのバランスでできているという地球規模と自分の身の回りのことを結びつけて考える
はっぱは自分の身を守るのに色々なことをしている。それをまた人間がうまく使ったりしている。葉と虫という関係の面白い話で興味を持ってもらう。

プログラムの内容

① はっぱのやくわり(15分)

なぜはっぱは緑色か、何をしているのか。(光合成は中学生にならないと習わないので簡単にやさしく機能のみ説明)地球温暖化ガスのひとつの二酸化炭素全体の60%を吸収している。2050年に実質二酸化炭素排出ゼロに向かっていろいろなことが進められていく。

② はっぱのあれこれ(35分)

はっぱ写真から樹の名前当てクイズ

(校庭などにあるなじみのものから4題)

- ・(校庭の)サクラのはっぱは「毒」がある→でも桜餅がある? : クビアカツヤカミキリ
- ・(昇降口前の)クスノキ : はっぱは硬いが、幹は良い匂い→「防虫剤」(伐採木持参)
- ・コナラ・クヌギ : はっぱとドングリの違い→ハイイロチョッキリ、カシノナガキクイムシ
- ・(校内の)イチョウのはっぱの特徴と街路樹に使われる意味。

はっぱはそれぞれいろいろなやりかたで自分の身を守っているが、最近はおかしいことも。

受講者の反応

まず、自分が大人(40歳)の地球の環境が??で、関心があったようだ。

クイズ形式の方は盛り上がった。積極的な拳手と質問などあった。

そのほかの木にまつわる質問が多数出たので、その後の休み時間を使ったが時間切れ。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要

授業の様子



電子黒板で写した映像例（ちょっと頑張りすぎて63枚となってしまった）

はっぱ②クスノキ



クスノキ



みんながいつも見ている木の葉です。

はっぱが
良いにおい なの知っていますか

木自体もすごく 良いにおい
がします。

昔は着物の「虫よけ」(防虫剤)として
使われていました。
「しょうのう」の原料です。
値段の高い高級品です。

②クスノキ

埼玉県で一番大きな木は？

越生(おごせ)にあるクスノキです。
上谷の大楠(かみやつのおおくす)



今は近くに行けません

熊谷西小にあるのは
・葉がいっぱいある木なので
「日陰」ができる
・害虫がつかない
などの理由で植えられていると
思います。